

中学校名	市	主な入試の変更点と予測
フェリス	横浜市	横浜女子御三家。模試での希望者は少し減っていて、都内の御三家各校にやや押されているよう。ただ、高難度で少々応募者が減っても入りやすくなるような学校ではないため、2016年入試並みの難度を維持すると思われる。
横浜雙葉	横浜市	模試では概ね2015年並みの希望者数。入試情勢に目立った変化は見られず、2016年とあまり変わらない難度だと思われる。
横浜共立	横浜市	Aは、模試では概ね2015年並みの希望者数。入試情勢に目立った変化は見られず、2016年とあまり変わらない難度だと思われる。Bは、Aや横浜雙葉などの不合格者が集まるので、難度に変化はなさそう。
青山学院横浜英和	横浜市	青山学院の系属化を発表して以来人気上昇中の学校。受験生が大きく増えたこともあって、2月1日午後入試を廃止、2月1日午前、2日午後、3日午後の3回とする。模試での希望者は、遅い日程で少し減っているが、学力上位層の希望者が増加、中堅の学力層の希望者が減って、学力分布が変わってきている。2017年は、2日午後のB、3日午後のCは応募者が減るかもしれないが、上位層が増えていることから、難度は各回ともさらに上昇の勢い。要警戒校である。
捜真	横浜市	2月5日午後入試を4日午後前に前倒し。模試では、遅い日程の入試の希望者がやや減っている。早い日程は少し増えている、人気が上がっている。ただ、難化するほどではなさそう。遅い日程も、早い日程の不合格者が再挑戦するので、難度面はあまり変わらなさそう。
横浜女学院	横浜市	2科4科選択の午前入試の2科を、国算から、国算英から選択として、英語入試を開始。模試では、希望者が増えている回次、減っている回次が見られるが、総じて他校併願前提の受験生は増加傾向。このまま入試を迎えた場合、応募者は増えても、併願前提の受験生が多くなるとみられるので、難度面は各回次とも2016年入試並みになりそう。
神奈川学園	横浜市	入試の変更点はなし。模試では希望者が2015年並みか、回次によってはやや増減が見られる。難度が変わるほどの変化ではなく、各回とも総じて難度は2016年入試並みだと思われる。
聖ヨゼフ	横浜市	神奈川県に限らず、中堅までの女子校は全体的に人気に陰りが出ている。各回とも難化する入試はなく、2016年入試並みの難度か、回次によっては少し入りやすくなるかもしれない。
横浜富士見丘中等	横浜市	神奈川県に限らず、中堅までの女子校は全体的に人気に陰りが出ている。各回とも難化する入試はなく、2016年入試並みの難度か、回次によっては少し入りやすくなるかもしれない。
洗足学園	川崎市	入試の変更点はなし。模試では、比較的上位の学力層、中堅の学力層とも希望者が少し減っている。人気校で、これから難関校の併願受験の希望者が増える可能性もあるので、入りやすくなるとは言にくい。各回の難度は、仮に下がるとしても若干の幅に留まりそう。
カリタス	川崎市	2月2日午後に読解・論述・算数と、理科か英語の組み合わせの新3科型入試を新設。模試では、各回とも希望者が減少傾向。新設の新3科型入試以外の既存の各回は、定員の削減はあるものの、やや入りやすくなるかもしれない。
日本女子大附属	川崎市	入試の変更点はなし。模試では、2月1日の1回、3日の2回とも、2015年並みの希望者数のものもあれば、やや増えているものも見られる。学力層では中堅レベルが増えているため、人気動向がこのまま推移したとしても、難化せずに2016年入試並みの水準になりそう。
鎌倉女学院	鎌倉市	1次は、模試での希望者が少し減っている。中堅の学力層の希望者が減って、上位の学力層は減っていない。難度は2016年入試並みだと思われる。2月4日の2次は、やや模試での希望者が減っているが、1次不合格の受験生が再挑戦するので、難度に変化はなさそう。
清泉女学院	鎌倉市	初めての午後入試を2月1日午後に新設。科目は英語または2科。これを歓迎する受験生は多く、模試では新設の入試ばかりでなく2月1日午前の1期の希望者が増加、3日の3期もやや増えている。1日午前の1期は、志望順位が高い受験生が多いことから、難度は2016年入試並みか、難化しても小幅と思われる。3期は定員削減もあって難化は必至、新設午後入試の2期も、今までよりも少し高い難度になりそう。要注意校である。
鎌倉女子大	鎌倉市	神奈川県に限らず、中堅までの女子校は全体的に人気に陰りが出ている。各回とも難化する入試はなく、2016年入試並みの難度か、回次によっては少し入りやすくなるかもしれない。
北鎌倉女子	鎌倉市	神奈川県に限らず、中堅までの女子校は全体的に人気に陰りが出ている。各回とも難化する入試はなく、2016年入試並みの難度か、回次によっては少し入りやすくなるかもしれない。
聖セシリア	大和市	読解・表現と算数か英語の組み合わせによるB方式を新設。模試の希望者数は、2015年並みの模試もあれば少し減っている模試も見られる。難度面では各回とも2015年並みか、やや入りやすくなる回次が出るかもしれない。
相模女子大	相模原市	入試の変更点はなし。模試の希望者数は、回次ごとではやや増減があるものの概ね2015年並み。難度は2016年とあまり変わらない水準になりそう。
湘南白百合	藤沢市	模試では、上位と中堅どちらの学力層の応募者も少し減っている。やや入りやすくなるかもしれない。
聖園女学院	藤沢市	2月3日午後に教科横断型の総合力入試を新設。模試によって希望者の動向に違いが見られるが、女子校は全体的に人気下がりが気味であること(入り易くなる可能性がある)、既存の入試は定員が少し削減されること(入りにくくなる可能性がある)の両方の動きがあるので、結局難度は各回とも2016年とあまり変わらない水準に落ち着きそう。
緑ヶ丘女子	横須賀市	神奈川県に限らず、中堅までの女子校は全体的に人気に陰りが出ている。各回とも難化する入試はなく、2016年入試並みの難度か、回次によっては少し入りやすくなるかもしれない。
聖和学院	逗子市	神奈川県に限らず、中堅までの女子校は全体的に人気に陰りが出ている。各回とも難化する入試はなく、2016年入試並みの難度か、回次によっては少し入りやすくなるかもしれない。
函嶺白百合	足柄下郡箱根町	神奈川県に限らず、中堅までの女子校は全体的に人気に陰りが出ている。各回とも難化する入試はなく、2016年入試並みの難度か、回次によっては少し入りやすくなるかもしれない。